



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社Finatextホールディングス 上場取引所 東
コード番号 4419 URL <https://hd.finatext.com/>
代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)林 良太
問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)伊藤 祐一郎 (TEL)03(6265)6828
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,633	28.1	38	—	33	—	△141	—
2024年3月期第3四半期	2,837	89.5	△84	—	△77	—	△173	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △207百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △220百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 △2.86	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	円 銭 △3.55	円 銭 —

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 19,042	百万円 8,627	% 42.5
2023年3月期	17,709	8,801	46.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,099百万円 2023年3月期 8,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,352	40.1	21	—	4	—	△164	—	△3.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	49,813,784株	2023年3月期	49,407,656株
2024年3月期3Q	—	2023年3月期	—
2024年3月期3Q	49,517,442株	2023年3月期3Q	48,890,515株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融をサービスとして再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものを目指すことを目指しております。

今般、日本の経済は、新型コロナウイルスの5類への移行に伴う活動制限の解除により、社会経済活動の正常化が進み、国内の景気はゆるやかな回復基調で推移しました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景とするエネルギーや原材料価格の高騰等によるインフレ懸念の高まりに加え、中東情勢の緊迫化による地政学的リスク等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの流れは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズもより一層高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、前連結会計年度末以降、金融インフラストラクチャ事業及びフィンテックソリューション事業の保守運用業務が拡大したこと、ビッグデータ解析事業のデータライセンス契約件数が増加したことにより、ストック収益が拡大し、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,633,399千円（前年同期比28.1%増）、営業利益38,155千円（前年同期は84,195千円の営業損失）、経常利益33,092千円（前年同期は77,511千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は141,787千円（前年同期は173,768千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供するものであります。

証券インフラストラクチャビジネスでは、サービス提供しているパートナーへの保守運用サービス、合意済みのパートナーに向けた初期開発に注力しました。当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度にサービス提供を開始したパートナーからの保守運用業務によるストック収益、及び投資一任サービスを提供したパートナーの顧客が保有するAUMの増加等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。

サービスの初期開発については、株式会社アンバー・アセット・マネジメントによる米国株の投資一任サービスをローンチしました。この結果、「BaaS」上での稼働サービス数は9サービス（前連結会計年度末時点：8サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向けた「Inspire」の機能の拡充と、合意済みのパートナーへの「Inspire」の初期導入支援に注力いたしました。当第3四半期連結累計期間においては、「Inspire」の機能を拡充、初期導入先向けへの開発業務に注力しました。

初期導入支援については、当第3四半期連結累計期間中の新規ローンチはなかったため、「Inspire」上での稼働社数は9社（前連結会計年度末時点：9社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、当第2四半期連結累計期間よりクレジットインフラストラクチャ「Crest」が稼働開始し、個人向けローンサービスの実証実験を開始いたしました。当第3四半期連結累計期間中の新規ローンチはなかったため、「Crest」上での稼働社数は1社（前連結会計年度末時点：0社）となっております。

コスト面については、各ビジネスともに、将来のビジネス拡大を見据え、引き続き人材採用、機能拡充の先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は1,826,181千円（前年同期比42.5%増）、セグメント損失は291,167千円（前年同期は402,602千円のセグメント損失）となりました。

(ii) フィンテックソリューション事業

フィンテックソリューション事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

ソリューションビジネスでは、主に前連結会計年度にシステム構築を支援した、株式会社三菱UFJ銀行「Money Canvas」の追加機能拡充の支援等を進めました。

以上の結果、新プロジェクトからのフロー収益及びストック収益が拡大し、当第3四半期連結累計期間のフィンテックソリューション事業の売上高は916,318千円（前年同期比12.1%増）、セグメント利益は114,166千円（前年同期比18.7%減）となりました。

(iii) ビッグデータ解析事業

ビッグデータ解析事業は、ビッグデータを保有する企業のデータ利活用の促進を支援しており、企業の持つビッグデータを機関投資家や官公庁に提供するデータライセンスビジネスや、企業のデータ利活用を支援するデータ解析支援ビジネスを行っております。

データライセンスビジネスでは、マクロ経済データの新サービスとして、求人広告データをもとにした賃金動向指数サービス「HRog賃金Now」を提供開始しました。

以上の結果、「Alterna Data」の契約件数が伸長し、当第3四半期連結累計期間のビッグデータ解析事業の売上高は890,900千円（前年同期比20.6%増）、セグメント利益は180,640千円（前年同期比17.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産合計は19,042,172千円となり、前連結会計年度末に比べて1,332,346千円増加いたしました。

流動資産は18,463,982千円となり、前連結会計年度末と比較して1,152,726千円増加いたしました。これは主に、営業貸付金が493,142千円、現金及び預金が259,781千円、売掛金が282,181千円増加したこと等によるものであります。固定資産は578,190千円となり、前連結会計年度末と比較して179,620千円増加いたしました。これは無形固定資産が81,138千円、投資その他の資産に含まれる長期差入保証金が45,579千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は10,415,104千円となり、前連結会計年度末と比較して1,507,190千円増加いたしました。

流動負債は9,755,199千円となり、前連結会計年度末に比べて929,497千円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれている預り金が503,619千円、1年内返済予定の長期借入金が228,900千円増加したこと等によるものであります。固定負債及び特別法上の準備金は659,905千円となり、前連結会計年度末に比べて577,692千円増加いたしました。これは長期借入金が467,000千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,627,068千円となり、前連結会計年度末に比べて174,843千円減少いたしました。これは主に、資本金が16,408千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が141,787千円、非支配株主持分が26,026千円、資本剰余金が17,943千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,354,377	5,614,159
売掛金	545,225	827,407
契約資産	77,099	150,298
営業貸付金	167,335	660,478
証券業における預託金	6,621,000	6,511,000
証券業における信用取引資産	3,463,695	3,257,509
証券業における短期差入保証金	700,193	988,489
未収入金	47,738	143,754
その他	337,840	313,412
貸倒引当金	△3,250	△2,526
流動資産合計	17,311,255	18,463,982
固定資産		
有形固定資産	91,983	114,426
無形固定資産	133,364	214,502
投資その他の資産	173,222	249,261
固定資産合計	398,570	578,190
資産合計	17,709,825	19,042,172

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,869	33,344
契約負債	245,754	266,721
証券業における預り金	2,705,923	3,940,921
証券業における信用取引負債	1,608,748	629,566
証券業における受入保証金	3,265,837	3,055,989
1年内返済予定の長期借入金	37,500	266,400
未払法人税等	79,369	96,532
賞与引当金	-	51,246
その他	846,698	1,414,478
流動負債合計	8,825,701	9,755,199
固定負債		
長期借入金	-	467,000
資産除去債務	27,900	42,160
繰延税金負債	9,651	9,559
信託型ストックオプション関連損失引当金	-	87,840
固定負債合計	37,551	606,559
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	44,661	53,345
特別法上の準備金合計	44,661	53,345
負債合計	8,907,914	10,415,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,358	93,767
資本剰余金	12,239,531	12,221,588
利益剰余金	△4,090,784	△4,232,571
株主資本合計	8,226,105	8,082,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163	△45
繰延ヘッジ損益	9,035	5,121
為替換算調整勘定	12,370	11,398
その他の包括利益累計額合計	21,569	16,473
新株予約権	39,233	38,834
非支配株主持分	515,002	488,975
純資産合計	8,801,911	8,627,068
負債純資産合計	17,709,825	19,042,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,837,161	3,633,399
売上原価	1,215,140	1,515,660
売上総利益	1,622,021	2,117,738
販売費及び一般管理費	1,706,217	2,079,583
営業利益又は営業損失(△)	△84,195	38,155
営業外収益		
受取利息	3,438	6,596
受取配当金	-	5
為替差益	2,644	888
消費税等差額	1,379	2,420
その他	2,822	2,543
営業外収益合計	10,285	12,453
営業外費用		
支払利息	1,077	7,060
投資有価証券評価損	-	10,000
創立費	1,899	-
その他	623	456
営業外費用合計	3,600	17,516
経常利益又は経常損失(△)	△77,511	33,092
特別利益		
新株予約権戻入益	158	-
特別利益合計	158	-
特別損失		
減損損失	26,906	20,955
金融商品取引責任準備金繰入	6,639	8,684
信託型ストックオプション関連損失	-	107,051
その他	1,574	-
特別損失合計	35,121	136,690
税金等調整前四半期純損失(△)	△112,473	△103,597
法人税、住民税及び事業税	122,913	126,263
法人税等調整額	1,210	△27,497
法人税等合計	124,124	98,765
四半期純損失(△)	△236,598	△202,363
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△62,829	△60,576
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△173,768	△141,787

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△236,598	△202,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	△118
繰延ヘッジ損益	12,049	△3,914
為替換算調整勘定	4,225	△775
その他の包括利益合計	16,259	△4,807
四半期包括利益	△220,338	△207,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△159,605	△146,792
非支配株主に係る四半期包括利益	△60,733	△60,379

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

信託型ストックオプション関連損失

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

2023年5月30日に、国税庁が公表した「ストックオプションに対する課税(Q&A)」の中で、国税庁は、従業員等が信託型ストックオプション(以下、「信託S0」)の権利を行使して株式を取得した時点で、会社からの実質的な給与とみなされるとの見解(以下、「国税庁の見解」)を公表し、過去に権利行使済みの信託S0について、会社側に源泉所得税の支払いを求めました。

今回の国税庁の見解を踏まえ、当社が導入している信託S0に関して、外部専門家との協議や確認等を行い、当初想定していなかった追加的な負担が役職員等に生じ、当初想定していたインセンティブが発揮されないことから、これまでの役職員等とのコミュニケーションや本信託S0の導入経緯を踏まえ、求償権の一部を放棄する等の方針とすることとしました。

これら一連の意思決定の結果、第3四半期連結累計期間において、特別損失に信託型ストックオプション関連損失107,051千円を計上しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	534,539	—	—	534,539	—	534,539
保険インフラストラクチャ ビジネス	453,716	—	—	453,716	—	453,716
クレジットインフラ ストラクチャビジネス	124,586	—	—	124,586	—	124,586
マーケティングビジネス	—	81,310	—	81,310	—	81,310
ソリューションビジネス	—	735,743	—	735,743	—	735,743
データライセンスビジネス	—	—	695,719	695,719	—	695,719
データ解析支援ビジネス	—	—	42,967	42,967	—	42,967
顧客との契約から生じる 収益	1,112,842	817,054	738,686	2,668,583	—	2,668,583
その他の収益	168,578	—	—	168,578	—	168,578
外部顧客への売上高	1,281,420	817,054	738,686	2,837,161	—	2,837,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,281,420	817,054	738,686	2,837,161	—	2,837,161
セグメント利益又は損失(△)	△402,602	140,377	154,280	△107,944	23,748	△84,195

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額23,748千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額23,748千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック ソリューション 事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	899,993	—	—	899,993	—	899,993
保険インフラストラクチャ ビジネス	467,341	—	—	467,341	—	467,341
クレジットインフラ ストラクチャビジネス	179,194	—	—	179,194	—	179,194
マーケティングビジネス	—	99,064	—	99,064	—	99,064
ソリューションビジネス	—	817,253	—	817,253	—	817,253
データライセンスビジネス	—	—	772,747	772,747	—	772,747
データ解析支援ビジネス	—	—	118,152	118,152	—	118,152
顧客との契約から生じる 収益	1,546,530	916,318	890,900	3,353,748	—	3,353,748
その他の収益	279,651	—	—	279,651	—	279,651
外部顧客への売上高	1,826,181	916,318	890,900	3,633,399	—	3,633,399
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,826,181	916,318	890,900	3,633,399	—	3,633,399
セグメント利益又は損失(△)	△291,167	114,166	180,640	3,639	34,515	38,155

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額34,515千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額34,515千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。